

平成29年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻 共通

（一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試）
（ 外 国 語 ）

試 験 日 : 平成29年2月3日(金)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

【注意事項】

1. 英語は3コース共通の問題となっています。問1、問2に解答しなさい。
2. 解答は問題ごとに別の答案用紙に記入しなさい。それぞれの答案用紙にあなたの志望するコース、氏名、受験番号を忘れずに記入すること。
3. 特に指示がない限り、日本語で解答すること。

問1 次の英文は legal history の観点から gender について考察した論考の一部である。その英文を読んで、以下の(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③を日本語に訳しなさい。
- (4) 下線部④の “These metropolitan developments” が指し示す具体的な内容を本文にそくして日本語で要約しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

出典

Burns, Susan L. (2014) Introduction. Burns, Susan L. & Barbara J. Brooks eds. *Gender and Law in the Japanese Imperium*. Honolulu: University of Hawai'i Press, pp.1-2. (一部改変)

問2 次の英文は、都市研究の事典に掲載されているポスト・フォーディズムと都市に関する説明文の一部を抜粋して引用したものである。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) フォーディズムとポスト・フォーディズムにおける消費がどのように異なるのか、英文の内容に即して日本語で答えなさい。
- (3) ポスト・フォーディズムの都市でみられる現象について、英文の内容を要約して日本語で答えなさい。その際、排除 exclusion をキーワードにすること。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典

Lever, W. F. (2001) The post-fordist city. Paddison, R. ed. *Handbook of urban studies*. London: SAGE Publications Ltd., pp.280-281. (一部改変)

平成29年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

ジェンダー社会科学専攻

(一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試)

(専 門 試 験)

試 験 日： 平成 29年 2月 3日(金)

試 験 時 間： 13時00分～15時00分

【注意事項】

1. この問題冊子の全8問の中から2問選択して解答しなさい。
その2問のうちには、あなたが志望するコースが出題した問題を、
少なくとも1問は含めなければなりません。各問題の出題コース
名は、ページの上部に記載されています。
問題は、次の順番で配列されています。

問題番号	出題コース
問1～3	生活政策学コース
問4～6	地理環境学コース
問7～8	開発・ジェンダー論コース

2. 解答は、問題ごとに、別の答案用紙に記述しなさい。それぞれの
答案用紙に、志望するコース、氏名、受験番号のほか、必ず
自分が解答した問題の番号も記入すること。
3. とくに指示がない限り、日本語で解答すること。

生活政策学コース

問1 現在の日本には、出生届の提出・受理に至らず、戸籍に記載されていない人が数多くいる。法務省によると、2016年8月10日時点で、全国で702人の無戸籍者が把握されている。しかし、実際には1万人以上いる可能性があるとの指摘もある。

この「無戸籍問題」について、以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) 無戸籍問題が生じる背景及び経緯について説明しなさい。
- (2) 無戸籍者には、法的、社会的に種々の不利益が発生することが考えられます。この点について具体的な例を用いて説明しなさい。
- (3) 無戸籍問題の解決策について論じなさい。

問2 準市場に関する2つの問いに答えなさい。

- (1) 準市場とはどのような市場か。例を示しながら説明しなさい。
- (2) 準市場における問題点や限界について、以下の用語を少なくとも3つ使い、説明しなさい。

公共サービス、クリームスキミング、公平性、効率性、競争、選択、自己責任

問3 晩婚化や晩産化を背景として、育児をしながら親の介護も同時に担う、いわゆる「ダブルケア」が問題視されるようになってきた。2016年2月に内閣府が実施した「育児と介護のダブルケアの実態に関する調査」（インターネットによるWebアンケート調査、調査対象者数1004名）は、ダブルケアを担う者の人数や意識などを把握することを目的として実施された。この調査の主な結果は以下である。

- ① ダブルケアを行なう男性の半数以上は、配偶者から「ほぼ毎日」手助けを得ているが、女性の場合は4人に1人である。
- ② 就業する男性の約2割、女性の約4割がダブルケアのために業務量や労働時間を減らしており、そのうち離職し無職になった者は、男性では2.6%、女性では17.5%である。
- ③ ダブルケアのために業務量や労働時間を変えなくて済んだ就業者のうち、その理由としてもっとも多かったのは、男性では「家族の支援が得られた(47.3%)」であり、女性では「育児サービスを利用できた(38.2%)」であった。

これらの主な結果について、以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) これらの結果に調査方法がどのように影響しているのか、あるいは影響していないのかについて、推察しなさい。
- (2) ダブルケアにおいて、何故このような男女格差が生じるのか、その主な理由について述べなさい。
- (3) これらの男女格差を是正するために、日本政府と企業ができることをあげなさい。また、それらがどのような効果をもたらすと期待されるのかについて説明しなさい。

地理環境学コース

問4 以下の図は日本の植生の垂直分布帯を示している。ここから読み取れる特徴を述べなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：高橋日出男・小泉武栄編(2008)『自然地理学概論』朝倉書店、p.118.

地理環境学コース

問5 オリンピック開催をめぐる政治・経済・地理について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 世界の諸都市がオリンピック誘致をめぐる激しい競争をするのはなぜか。都市のみならず、国家、資本の視点を加えて考察しなさい。
- (2) オリンピック開催によって、都市景観はどのように変貌し、それに伴いどのような課題が発生しているか。具体例をあげながら論じなさい。

問6 次の①～⑥の用語から2つ選び、それぞれ10行以内で説明しなさい。具体例を交えながら説明してかまわない。解答には、選択した用語の番号を付すこと。

- ① モンスーン
- ② エコツーリズム
- ③ インナーシティ問題
- ④ 地域おこし（町おこし、村おこし）
- ⑤ 国際的相互依存
- ⑥ 社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）

開発・ジェンダー論コース

問7 「男らしさ（男性性）」は、政治を分析するツールとして有効な概念と指摘されてきた。男らしさを分析ツールとして用い、国際政治、または、国内政治の事例を挙げて分析するとともに、その概念の有効性と知見を論じなさい。

問8 「貧困」については多様なとらえ方があるが、主要な貧困の概念について説明しなさい。また、国・地域やアクターなどを設定し、そこでの貧困とそれへの取り組みについて論じなさい。